

ロジスティクス強調月間 2024

9 10月

# 関西物流改善事例 発表会2024

会場参加・オンライン参加選択形式で開催

物流改善。現場を変える、社会を変える。



会期: 10月17日(木) 9:30~17:20

開催形式: 会場参加・オンライン参加選択形式

- ・会場: TKPガーデンシティ大阪リバーサイドホテル 6階 バンケット6A(大阪市都島区:JR桜ノ宮駅)
- ・オンライン: Zoomウェビナー

主催: 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会  
一般社団法人日本物流資格士会 西日本委員会

## ロジスティクス強調月間2024サポーター 一覧

株式会社IH1	コマツ	中国通信資材株式会社	バクテラ・テクノロジー・ジャパン株式会社
アセンド株式会社	株式会社サーガ	つばさホールディングス株式会社	株式会社フジトランスコーポレーション
株式会社アライブロバンス	サカタウエアハウス株式会社	デロイトトーマツ コンサルティング合同会社	船井総研ロジ株式会社
株式会社あらた	サンコーインダストリー株式会社	トヨーカネット株式会社	ホンダロジコム株式会社
SBSリコーロジスティクス株式会社	ジョブコレ株式会社	株式会社豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー	三菱商事株式会社
株式会社NTTロジスコ	住友重機械搬送システム株式会社	株式会社トランストロン	三菱倉庫株式会社
王子物流株式会社	株式会社住友倉庫	日本貨物鉄道株式会社	村田機械株式会社
株式会社オプティマインド	西部電機株式会社	日本通運株式会社	ヤマエ久野株式会社
花王株式会社	センコーグループホールディングス株式会社	日本電気株式会社	株式会社ライノス・パブリケーションズ
株式会社KURANDO	株式会社タイガー	株式会社日本海事新聞社	株式会社流通研究社
株式会社構造計画研究所	株式会社ダイフク	株式会社パーマンコーポレーション	株式会社ワールドスタッフィング

## 関西物流改善事例発表会 2024

## 開催にあたって

関西物流改善事例発表会2024  
実行委員会

## 委員長 高田 充康

オムロン株式会社  
グローバル購買・品質・物流本部  
物流統轄室 経営基幹職

物流業界では、いわゆる物流2024年問題をはじめ、トラックドライバー、倉庫作業員・スタッフ等の労働力不足がますます深刻な状況となっています。そのような中、物流現場や管理事務においては、その課題解決のため、物流DXの推進、AIやロボット等の最新技術の導入が進みつつあります。

また、本年4月26日には物流関連2法が改正され、物流業界全体を効率化するための取り組みを、物流事業者、荷主の双方へ求めています。例として、複数企業が協力する共同物流や特定荷主の物流統括管理者設置などがあります。

物流・ロジスティクスを取り巻く環境が目まぐるしく変化するなか、個社のみでは解決できない課題に取り組む必要性がますます高まっています。

今後も物流の需要は高まると予想されるなか、物流現場では、先進技術の活用とともに、環境変化に柔軟に対応し、現場が自発的に率先して考え改善する「物流現場力」の一層の強化が求められています。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会は、本年9月10日を「ロジスティクス強調月間」として定め、東京、名古屋、大阪、福岡の各地区で講演会、発表会を実施し、全国規模でロジスティクスの啓発、普及活動を展開しております。本年度は「ロジスティクスで未来を拓く ～「変革の意識」がその鍵だ～」を統一テーマとして、44機関のサポートのもと、9月10日に普及活動を実施いたします。

当協会関西支部では、ロジスティクス強調月間の一環として、ロジスティクスの高度化に寄与する物流現場の改善活動に焦点をあて、一般社団法人日本物流資格士会西日本委員会との共催による「関西物流改善事例発表会2024」を開催いたします。

本発表会では、「物流改善。現場を変える、社会を変える。」をテーマに、10件の優秀な企業事例を発表いただきます。

今回のプログラムは、現場担当者が知恵を絞った作業方法やプロセスの改善活動を中心に、最新技術の活用や物流事業者・荷主の協働なども加わり、顧客サービス、物流品質、生産性の向上などに大きな成果をあげられた企業事例で構成されております。

また、特別講演では、株式会社NX総合研究所 リサーチ&コンサルティングユニット3 シニア・コンサルタント(物流AI化戦略担当) 宮里 隆司 氏をお迎えし、「物流へのAI/生成AI活用の現在と今後の展望 ～ディープラーニングを土台とする生成AIという新技術を物流ビジネスにどう活用するか?～」をテーマにご講演いただきます。

物流現場改善に積極的に取り組んでいる企業の事例を通じ、物流現場における課題解決の手がかりや、改善ノウハウを得られる機会であると確信いたしております。

つきましては、本発表会に積極的にご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本物流資格士会は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会およびその前身の団体の下で養成された、物流スペシャリストである「物流技術管理士」「国際物流管理士」「物流管理士」「物流現場改善士」による組織です。わが国唯一の物流スペシャリスト資格者による交流組織で、会員の相互研鑽ならびに物流に関する知識と技術の向上を図ると共に、関連諸機関と連携して物流の合理化を推進することを目的としています。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、物流の現場力の強化を目的に「物流現場改善推進のための手引書 改定版」を作成いたしました。⇒詳細およびダウンロードは、以下のページへアクセスしてください。  
<https://www1.logistics.or.jp/subdivision/kaizenbooklet.html>

# 関西物流改善事例発表会 プログラム

2024年10月17日(木)

9:30 ~ 9:35	開会 挨拶	関西物流改善事例発表会2024 実行委員会委員長 オムロン株式会社 グローバル購買・品質・物流本部 物流統轄室 経営基幹職	高田 充康
9:35 ~ 9:50	JILSの 講演	<b>2024年、意識と行動の変革でロジスティクスを推進</b> 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事	寺田 大泉
9:50 ~ 10:15	事例 発表 1	<b>荷主と物流パートナーとの物流費削減に向けた協働プロジェクト</b> センコー株式会社 阪神主管支店 尼崎PDセンター 窪田 竜太郎 氏 / 福田 直人 氏 オムロン株式会社 グローバル購買・品質・物流本部 物流統轄室 国内物流部 プロセス革新グループ 山口 敦也 氏	
物流費削減に向けた荷主との協働プロジェクトを開始、ブレインストーミングを重ねるなかですぐに実施ができる17件を対象として2024年4月から12月を改善実施期間として実行中。これまでの改善活動により、事務所工数：60時間/月削減、入荷作業工数：60時間/月削減、検品作業工数：5名削減などを実現した。			
10:15 ~ 10:40	事例 発表 2	<b>立体型ソーター(オムニソーター)で帳票仕分(品質改善+生産性UP)</b> 佐川グローバルロジスティクス株式会社 関西エリア 東大阪SRC 係長	大坪 未季 氏
物流センターにおける帳票のテレコという出荷ミスをなくすため、これまで商品の仕分けのみを行っていたオムニソーターにて帳票の仕分けを実施。作業工程を見直し、帳票を後発行から先発行へ変更することで品質面だけでなく作業効率も大幅にUP、これにより月間616人時の削減を実現した。			
休憩20分 / 事例発表1・2の名刺交換			
11:00 ~ 11:25	事例 発表 3	<b>フォークリフトオペレータの作業整理、 軽作業標準化および多能工化推進による効率化/総稼働の削減</b> 株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコサービス 八尾物流センター	上野 真悠華 氏 八尾物流センター 吉留 優子 氏
フォークオペレータ(以下、FO)の恒常的な残業発生かつ採用困難な環境のもと、FO作業を分析しフォーク作業と軽作業に切り分け、軽作業手順の整理、ツール活用等により誰でもできる作業に標準化し分担。OJT/多能工化推進により総稼働が前年比3割減となり、3PLとして波動等に柔軟に対応できる仕組みの定着化と効率化を実現した。			
11:25 ~ 11:50	事例 発表 4	<b>コンベア連結台車導入による作業者にやさしい工程の実現</b> 株式会社アイシン・ロジテクサービス 物流部 物流企画G 担当員	成田 允伸 氏
弊社物流センターでは受入れ部品を保管エリアに受け渡す際にコンベアを使用している。このコンベアからの部品の取出しはパワーリフターを使用していたが、操作性と電池持ちなど課題があったため、コンベア連結台車を製作し工程フローを見直すことで工数低減(▲3.9人工/日)と歩車分離された安全な工程を実現した。			
昼休み70分 / 事例発表3・4の名刺交換			
13:00 ~ 13:25	事例 発表 5	<b>VR(仮想現実)ソリューションを用いた倉庫立ち上げ方法の改善 ~レイアウト設計、安全・運用トレーニングの未来像~</b> 日本通運株式会社 大阪支店コーポレートソリューション部 ロジスティクス・オペレーション企画G	小山 尚輝 氏
VRソリューションを用いたレイアウト設計およびプレゼンの刷新に取り組んだ。従来はレイアウトの設計・レビューを2次元の平面図で行っていたため、立体としての倉庫を説明するのが難しかった。そこで3D機能を用いて3次元で作成したレイアウトで説明することで、イメージが伝わりやすくなるとともに、より安全に配慮した倉庫レイアウトの作成が可能となった。			
13:25 ~ 13:50	事例 発表 6	<b>現場の出来る化、分かる化、見える化でピッキングの精度UPを実現</b> 丸二倉庫株式会社 OBL PLAZA 主任	岡本 大介 氏 OBL PLAZA 的場 弘成 氏
一日平均2,500~3,000件の出荷業務があり、ピッキングミス、ピッキング時の探し物により作業が停滞することがあった。また、初心者のピッキング精度UPも課題となっていた。当社の取組みテーマである「出来る化」「分かる化」「見える化」による商品の配置見直し、小物商品保管見直し、棚入れ(戻し)の工夫やピッキングツールの開発をおこなった結果、探し物件数の削減(30%減)、ピッキングミス件数の削減(8%減)を実現した。			

<p>13:50 } 14:15</p>	<p>事例発表 <b>7</b></p>	<p><b>Logistics課題と社会課題の解決を目指した 専用パレットの開発・導入とその先へ</b> ～高負荷作業撲滅と環境負荷低減活動推進の両立をめざして～</p> <p>クボタロジスティクス株式会社 事業管理部 <b>梶川 真子 氏</b></p> <p>製品積み下ろしの際に発生していた高負荷・危険作業の撲滅を積載効率を落とさず実行するtoolとして、製品形状に合わせた専用サイズパレットを開発・導入することで推進上の課題であった積載効率の低下を回避し実行に結び付けた。 また、各部門でカートンパレットの弱点であった強度確保に取り組み、固縛素材の見直し・ラッシング材の使用量低減といった環境負荷低減の諸活動に発展させ、全社的な「LogisticsにおけるSDGsの実行」に向け踏み出した。</p>
------------------------------	--------------------------	---

休憩20分 / 事例発表5～7の名刺交換

<p>14:35 } 15:00</p>	<p>事例発表 <b>8</b></p>	<p><b>外観検査の見える化を行うアプリケーションの開発</b></p> <p>日本貨物鉄道株式会社 関西支社 広島車両所 車両技術係 <b>福田 太志 氏</b> 広島車両所 車両係 <b>時實 拓紀 氏</b></p> <p>当事業所では「良質な車両の提供」の方針のもと貨物列車の機関車・貨車の全般検査（オーバーホール）を実施しているが、検査担当者の見逃しや錯誤といったリスクは避けられなかった。そこで、業務用スマートフォンを活用して外観検査の見える化が可能となるシステムを開発・導入した結果、ヒューマンエラーに起因する車両故障が2022年度の9件から2023年度は4件まで減少した。</p>
------------------------------	--------------------------	---

<p>15:00 } 15:25</p>	<p>事例発表 <b>9</b></p>	<p><b>通販出荷繁忙時における受注商品の 仕分け作業負担の軽減と生産性の向上</b></p> <p>タビオ奈良株式会社 物流部 新物流チーム・メカニカル・エンジニア <b>森川 貴文 氏</b></p> <p>通販受注が多い時期、人海戦術での仕分けは負担が大きく、負担軽減策の企画立案と生産性の向上が急務であった。そこで作業者の負担を軽減するため棚の間口番号プレートにPCと連動させ光らせることで、すぐに棚を見つけられる仕組みを考案した。その結果、棚を探す時間を短縮することができ、仕分け時間が約25%改善した。</p>
------------------------------	--------------------------	--

<p>15:25 } 15:50</p>	<p>事例発表 <b>10</b></p>	<p><b>多様な人が活躍できる働き方改革へ ～フレキシブルハイブリッドワーク～</b></p> <p>株式会社コクヨロジテム お納め本部 副本部長 <b>城 将司 氏</b> 経営統括本部経営管理部人事グループ グループ長 <b>土田 将史 氏</b></p> <p>物流業界および自社において労働力不足に直面している状況にあり、人材維持・獲得のため多様な人が働きやすい環境を整える必要性があった。そこで、物流センターでは時間のフレキシブル化（フルフレックスタイム制度導入）、オフィス勤務者では働く場所の拡大（出社と在宅ワークのハイブリッド運用）を行った結果、ワークライフバランスの向上などの成果につながった。</p>
------------------------------	---------------------------	--

15:50 } 15:55 **各発表者に記念品贈呈**

休憩20分 / 事例発表8～10の名刺交換

<p>16:15 } 17:15</p>	<p>特別講演</p>	<p><b>物流へのAI/生成AI活用の現在と今後の展望</b> <b>ディープラーニングを土台とする生成AIという新技術を物流ビジネスに どう活用するか？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生成AIはディープラーニングによって学んだことから魔法のように文章や画像を生み出す。</li> <li>従来のAIや生成AIは物流ビジネスにどのように活用されているか。</li> <li>生成AIの進化は物流ビジネスにどのような影響を与えるか。</li> </ul> <p>株式会社NX総合研究所 リサーチ&amp;コンサルティングユニット3 シニア・コンサルタント(物流AI化戦略担当) <b>宮里 隆司 氏</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■略歴 九州大卒。1980年、日揮入社。2002年、ユーキャン入社。2012年、脳機能分野のIT開発スタートアップを起業。2016年、NX総合研究所入社。2019年、物流AI化コンサルティング部門の立ち上げに伴いAI/DX戦略担当。2021年に「改革・改善のための戦略デザイン 自治体DX」を、2022年に「改革・改善のための戦略デザイン 小売業DX」を秀和システムより出版する。現在は、AFJ日本農業経営大学校イノベーター養成アカデミー客員教授を兼務。</p> </div>
------------------------------	-------------	--

<p>17:15 } 17:20</p>	<p>閉会挨拶</p>	<p>関西支部運営委員会 委員長 ダイキン工業株式会社 物流本部 物流本部長 <b>生地 幹</b></p>
------------------------------	-------------	--

※都合により講演者、テーマ等、プログラムが変更になる場合がございます。

## 実行委員会 委員一覧

委員長	高田 充康	オムロン株式会社 グローバル購買・品質・物流本部 物流統轄室 経営基幹職
副委員長	望月 彰	間口ロジスティクス株式会社 代表取締役
委員	上田 明広	株式会社インダ 執行役員 営業本部 営業管理部 部長 兼 建設工事管理室 室長
委員	山下 修司	株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ ICT事業本部 ICT営業担当部長 兼 茨木物流センター長
委員	安沢 大輔	クボタロジスティクス株式会社 総務部長 兼 次世代プロジェクト主査
委員	太期 健仁	ココヨサプライロジスティクス株式会社 物流本部 物流2部近畿IDC副統括所長
委員	橋本 昌倫	佐川グローバルロジスティクス株式会社 営業部 関西エリア エリアマネジャー
委員	小阪 英智	センコー株式会社 広島支店 支店長 兼 山陽センコー運輸 代表取締役社長
委員	武田 重治	ダイキン工業株式会社 物流本部 企画部 企画部長
委員	森口 哲博	ダイセル物流株式会社 安全品質推進部 部長
委員	植松 仁志	大和物流株式会社 ロジテック・オフィスサポート事業部 オフィスサポートグループ 担当課長
委員	丸山 義弘	日本通運株式会社 大阪支店 部長
委員	板垣 大介	一般社団法人日本物流資格士会 西日本委員会 委員長
委員	山崎 幸哉	一般社団法人日本物流資格士会 西日本委員会 委員
委員	柴田 吉政	レンゴロジスティクス株式会社 営業本部 西部営業部 九州営業部 部長
委員	新瀬 幸司	ワコール流通株式会社 代表取締役社長

## 開催概要

**名称** 関西物流改善事例発表会2024

**目的** 経営環境が目まぐるしく変化する産業界において、重要性が高まっているサプライチェーンマネジメント、ロジスティクスを効果的に機能させ、企業価値を高めるためには、経営その他の環境変化に柔軟に対応し、現場が自発的に率先して考え改善する「物流の現場力」の強化が欠かせない。  
関西物流改善事例発表会2024は、物流改善の発表を通じ、顧客サービス、物流品質、生産性の向上、物流の高度化および労働力不足の解決の手がかりやヒントを参加者と発表者で共有することで、物流改善活動の更なる活性化を促進することを目的に開催する。

**テーマ** 物流改善。現場を変える、社会を変える。

**会期** 2024年10月17日(木) 9:30~17:20

**会場** TKPガーデンシティ大阪リバーサイドホテル 6階 バンケット6A(大阪市都島区)

**企画運営** 関西物流改善事例発表会2024 実行委員会

**事務局** 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部

## ～物流現場改善に取り組む皆さんを応援します!～ 物流現場改善優良認定制度のご案内

日本ロジスティクスシステム協会では「物流現場改善優良認定」制度を2022年度よりスタートいたしました。本制度は物流現場改善に積極的に取り組まれている皆様の活動を応援すべく、物流現場改善の先進企業として認定させていただくことで、広く産業界に周知させていただくことをねらいとしております。

### 【物流現場改善優良認定 ロゴマーク】



ダイヤモンド



プラチナ



ゴールド



シルバー



ブロンズ

※提供したロゴマークのデータは名刺や会社案内等各種媒体へのご活用ください。  
※認定は年度ごとに実施しており、ロゴマーク自体に認定年度(西暦)が記載されます。なお、認定基準等につきましては当協会HPをご覧ください。



## 参加申込規程

### 参加料 (会場参加・オンライン参加ともに同価格です。)

	参加料金 (消費税込)
日本ロジスティクスシステム協会 会員 日本物流資格士会 会員	16,500円/1名
上記会員外	25,300円/1名

※上記料金には、昼食代は含まれておりません。

### ◆有資格者優待(フォローアッププログラム)

当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。本プログラムは、当協会主催の講座で習得した知識をより深め実践の場で活用できる能力を身につけたいという、有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格※をお持ちの方に、当協会主催のプログラムを、優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場として、ぜひご利用ください。

#### ◇フォローアッププログラム参加料：11,000円/1名(消費税込)

フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は、参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

有資格者優待の該当保有資格をご確認ください。

※ロジスティクス経営士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士、物流技術管理士、物流現場改善士

### 参加定員

●会場参加：150名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

### 参加申込方法

●WEBサイトからお申し込みください。

当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。



トップ

事業案内

改善事例  
大会・発表会

### 参加料支払い方法

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則としてお申込み手続きご担当者のE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までをお願いいたします。
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

### 【キャンセル規定】

開催7日前～前々日(開催日を含まず起算) …………… 参加料(消費税を除く)の30%  
開催前日および当日 …………… 参加料(原則として消費税を除く)の全額  
※参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先にお申し出ください。

### ご注意

- お申し込み時に会場参加もしくはオンライン参加をご選択ください。
- 参加者全員にPDFテキストをメール等にて事前にお送りいたします。  
※発表により、テキストデータ送付が不可となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 会場参加者につきましては、開催日当日、会場にて冊子テキストをお渡しいたします。オンライン参加者には冊子テキストの配布はございません。なお、テキストのみの販売はいたしておりません。
- スライド内容を撮影する目的での写真撮影および発表内容の録音はご遠慮ください。

### ■事務局■

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部  
〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル11F  
e-mail : kansai@logistics.or.jp

### ■個人情報のお取り扱いについて■

当協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本発表会に関する確認・連絡・参加者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

### ■会場のご案内■



### TKPガーデンシティ 大阪リバーサイドホテル

〒534-0027  
大阪府大阪市都島区中野町5-12-30

【交通案内】  
JR大阪環状線  
「桜ノ宮」駅徒歩3分

### オンライン参加について

発表会会場での発表をオンラインライブ配信 (Zoom利用) いたします。

日本ロジスティクスシステム協会 (以下「主催者」という) が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと」と、以下の事項に同意のうえお申し込みください。

<https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/onlinekensyu.pdf>

- Zoomクライアントが使用できない場合はご参加いただけません。開催前に接続確認のご案内をいたします。
- 本発表会の参加者は申込時に登録した参加者に限定し、1人1台のデバイスでご参加いただけます。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本発表会を期間限定で配信します。
- 参加者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本発表会の録画、録音、撮影は禁止します。
- 参加者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の聴講を中止させることがあります。

### プログラム内容のお問い合わせ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部

TEL.06-4797-2070 e-mail : kansai@logistics.or.jp